

第3回「地域防災セミナー」開催

ー近年の地震被害とリスクマネジメントの導入の現状ー

熊本大学大学院 自然科学研究科 社会環境工学専攻と政策創造研究教育センター、くまもと地域基盤政策研究所では、例年市民の防災意識の向上と啓発のため地域防災セミナーを開催しております。今年のテーマは、近年の地震被害とリスクマネジメントの導入状況-と題して企画しております。このセミナーでは、我々教員はもとより研究者、官公庁、建設会社やコンサルタント会社等で御活躍されている方々から講演をお願いしております。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時：7月8日（火） 13：00～17：30 （12：30～受付開始）

場 所：百周年記念館（懇親会は「くすのき会館」）

参加費：無料 懇親会費：3000円（当日払い）

議事次第

13：00～13：05 開会の挨拶

熊本大学大学院社会環境工学専攻長 松田 泰治

13：05～14：35 「地震工学の最前線 ～最近の国内外の地震被害調査から～」

金沢大学大学院教授 宮島 昌克

休憩（10分）

14：45～16：15 「民間のリスクコンサルから見たリスクマネジメント導入の現状と今後の展開」

株式会社イー・アール・エス リスクマネジメント部 広中 良和

休憩（10分）

16：25～16：45 「熊本市における防災情報の伝達についてー熊本市防災情報システムの概要ー」

熊本市総務局危機管理防災室次長 萱野 晃

16：45～17：25 「地域水害リスクマネジメントシステムの構築と実践について」

熊本大学大学院教授 大本 照憲

17：25～17：30 閉会の挨拶

熊本大学政策創造研究教育センター 柿本 竜治

.....
18：00～19：30 懇親会（くすのき会館）

講演概要

招待講演 地震工学の最前線 ～最近の国内外の地震被害調査から～

金沢大学大学院教授 宮島 昌克

地震防災工学は、地震被害を実物振動試験ととらえ、引き起こされた被害を分析し、再び同じ被害が起こらないように研究する経験工学の側面が強い。これまでのこのような研究を後追いの研究と考えると、これまでに引き起こされた災害をもとに、これまで経験していない被害が将来引き起こされることを予測し、先手を打つ、先取りの研究が望まれている。近年の国内外の地震被害調査について報告するとともに、それらをもとにした先取り研究について紹介する。

招待講演 民間のリスクコンサルから見たリスクマネジメント導入の現状と今後の展開

株式会社イー・アール・エス リスクマネジメント部 広中 良和

内部統制、企業の社会的責任（CSR）、事業継続マネジメント（BCM）への関心の高まり、さらに、記憶に新しい大規模災害と将来起こるとされる脅威に対する不安を背景に、リスクマネジメントの重要性が再認識されている。国際規格化など BCM をめぐる国内外の動向等に触れるとともに、企業のリスクに対する認識と取組みの事例を交えて、災害リスクマネジメント導入の現状と課題について紹介する。

講演1 熊本市における防災情報の伝達についてー熊本市防災情報システムの概要ー

熊本市総務局危機管理防災室次長 萱野 晃

災害発生時には、正確で迅速な災害情報の収集と市民への情報伝達が重要である。そこで、熊本市の防災対策、特に防災情報システムの概要を中心とした情報伝達の現状と課題について報告する。

講演2 地域水害リスクマネジメントシステムの構築と実践について

熊本大学大学院教授 大本 照憲

住民参加型の水害リスクマネジメントの必要性は広く認知されてきているが、現状での行政と住民との水害情報に対する認識にはかなりの開きがあるものと考えられ、それらを是正する有効な実践手法は確立されていないのが現状である。本取組では、地域防災情報発信システムとリスクコミュニケーション支援システムを統合化した地域水害リスクマネジメントシステムを構築し、地域コミュニティの視点に立って、“水害に対して安全・安心な地域社会”を実現する実践システムを熊本大学から地域社会へ提供してゆく。

会場案内

〒862-8555 熊本市黒髪2-39-1
熊本大学黒髪キャンパス

百周年記念館：南キャンパス
くすのき会館：北キャンパス

